

注目 ニュース	#	日付	FA名	ニュースタイトル	ニュース概要	感染症種別	ニュース種別							関連リンク			
							FAの 戦略/方針	ワクチン開発 進捗	取組		資金提供				イベント	組織設立 ・再編	
									当該FA	支援対象機	重点感染症	その他疾患	外部からFAへ				
	220	2023/10/2	WHO	WHO recommends R21/Matrix-M vaccine for malaria prevention in updated advice on immunization	WHOは小児のマラリア予防のために推奨する2番目の新規ワクチンとして、R21/Matrix-Mワクチンを推奨。WHO SAGEおよびマラリア政策諮問グループ（MPAG）からのアドバイスに従っており、9月25～29日に開催された定例会議後にWHO事務局長によって承認。WHOはまた、SAGEの助言に基づいて、デング熱と髄膜炎の新しいワクチンに関する推奨事項を発表し、併せて、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防接種スケジュールと製品の推奨事項も発表。アジュバントには、NovavaxのサポニンベースのアジュバントMatrix-Mが含まれる。	マラリア		●	●		●						リンク
	221	2023/10/2	Karolinska Institutet	The Nobel Prize in Physiology or Medicine 2023	新型コロナウイルス感染症に対する効果的なmRNAワクチンの開発を可能にしたヌクレオシド塩基修飾に関する発見に対して、Katalin KarikóとDrew Weissmanに2023年のノーベル生理学・医学賞を授与。mRNAに含まれる塩基修飾で炎症反応が消失し、パラダイムの変化が治療としてmRNAを使用する上で重大な意味を持つという結果を2005年に発表。	(mRNA技術)		●		●	●						リンク
★	222	2023/10/4	BARDA	Codagenix Announces BARDA Contract for Project NextGen Supporting Development of CoviLiv™ as an Intranasal COVID-19 Vaccine	BARDAとProject NextGenの一環として、COVID-19鼻腔内ワクチンCodagenixのPhase2b試験を支援する契約を発表。CoviLivはスタンバク質だけでなく、すべてのSARS-CoV-2タンパク質を発現する弱毒化生鼻腔内ワクチンであり、多数のウイルス抗原に対する広範な免疫の誘導を可能にし、変異株に対する防御効果を高める可能性があるとしている。	コロナウイルス感染症		●	●		●						リンク
★	223	2023/10/10	BMGF	Gates Foundation to Accelerate mRNA Vaccine Innovation and Manufacturing in Africa and Globally	中所得国（low- and middle-income countries；LMIC）におけるmRNA研究とワクチン製造技術へのアクセスを促進するため、Quantoom Biosciencesの低コストのmRNA研究および製造プラットフォームの40Mドルの資金提供を発表。パスツール・デ・ガール研究所（IPD）とBiovaは、この技術を取得するためにそれぞれ5mドルを受け取り、それを現地で関連するワクチンの開発に使用できるようになる。またQuantoom Biosciencesに20mドルを提供し、LMICが次世代 mRNA 健康ツールの恩恵を受けられるようにする予定。さらにBMGFは、他のLMICワクチン製造業者にさらに1,000万米ドルを助成する予定。	(mRNA製造技術)				●							リンク
★	224	2023/10/10	BARDA	Ocugen Mucosal Vaccine Candidate OCU500 Selected by NIH/NIAID Project NextGen for Inclusion in Clinical Trials	BARDAとProject NextGenの一環として、OcugenのCOVID-19ワクチン候補OCU500の粘膜経路、吸入による投与と比較する試験を実施すると発表。OCU500は、チンパンジーアデノウイルスベクター（ChAd）技術を用いた、粘膜経路型のウイルスベクターワクチンであり、以前の研究では筋肉内投与ワクチンと比較し、5分の1の用量で粘膜抗体、全身性抗体、および最長1年間持続する免疫反応が増加することを実証。	コロナウイルス感染症		●	●		●						リンク
★	225	2023/10/10	UKRI	New projects to kickstart future vaccine development awarded £25m	UKRIの新たな投資として、ウイルスと免疫システムがさまざまな課題にどのように反応するかについての理解を構築するための総額25mポンドの3つのプロジェクトを発表。 ・G2P2 virology consortium: SARS-CoV-2変異株への対応；リーダー Imperial College London ・IMMPROVE: 免疫記憶とワクチンからの保護のメカニズム解明；リーダー University of Oxford ・プロアクティブなワクチン学のための進化的にスマートなワクチン株の選択；リーダー University of Cambridge	コロナウイルス感染症		●	●		●						リンク
	226	2023/10/10	CEPI	CEPI expands partnership with Wageningen Bioveterinary Research to advance clinical trials of Rift Valley fever vaccine in affected countries	CEPIは、Wageningen Bioveterinary Research（WBVR）とのパートナーシップを拡大し、複数施設でのPhase1/2a試験を通じリフトバレー熱（RVF）に対するWBVRのワクチン候補を前進。CEPIから最大25.9 mドルの資金提供とEUのHorizon Europeプログラムの支援を受けて行われ、RVFが流行している国におけるWBVRのRVFワクチンの安全性と免疫原性を評価する初めての研究となる。	リフトバレー熱		●	●		●					リンク	
★	227	2023/10/11	CEPI	IQVIA and CEPI Collaborate to Strengthen Global Research Preparedness to Advance the 100 Days Mission	CEPIとIQVIAは、CEPIの100 Days Mission100を推進するための戦略的コラボレーションを発表。世界的な国および地域の協力者と協力して、ワクチンや新興感染症に対するその他の生物学的対策に関する臨床研究を迅速に実施することとしている。	-				●		●					リンク
	228	2023/10/12	BARDA	Genevant Sciences LNP Technology Used in samRNA Covid-19 Vaccine Candidate Behind Gritstone bio's BARDA Award	Genevant Sciencesは、Project NextGenで支援されているGritstone bioのsamRNAワクチン候補におけるLNP技術が使用される予定であることを発表。	コロナウイルス感染症		●		●	●						リンク
	229	2023/10/12	WHO	WHO announces €1.1bn collaboration to eradicate polio	欧州委員会、欧州投資銀行、BMGFは、ポリオ撲滅活動と低所得国での医療制度のアクセス向上のためWHOに1.1bユーロの融資協力を発表。この資金提供にはWHOとユニセフを含む世界ポリオ根絶イニシアチブ（Global Polio Eradication Initiative；GPEI）へ500mユーロ、保健システム強化のための投資と補助金500mユーロと80mユーロが含まれる予定。	ポリオ		●		●	●						リンク
	230	2023/10/13	NIAID	Study reveals how young children's immune systems tame SARS-CoV-2	乳幼児を対象とした研究で、SARS-CoV-2に感染した乳幼児は、ウイルスに対して強力な持続的な抗体反応を示し、鼻には高レベルの炎症性タンパク質が認められたが、成人とは対照的に血中には含まれていないことを発表。この研究はNIH NIAIDの共同資金提供により支援。	コロナウイルス感染症		●		●	●						リンク
★	231	2023/10/13	BARDA	Luminary Labs awarded BARDA contract to launch Project NextGen vaccine innovation prize competitions	BARDAとの提携を発表し、Project NextGenの目標を支援するために、2つのコンテストを企画、推進、運営することを発表。 ・規制当局の承認と商品化に向けた臨床エビデンスの収集；2024年に開始される予定で、賞金は最大50Mドルになる予定。 ・新型コロナウイルスやパンデミックインフルエンザに対する効果的な免疫反応を達成するための必要な投与回数削減；2026年に開始される予定で、賞金は最大41Mドルになる予定。	コロナウイルス感染症 インフルエンザ				●	●		●				リンク
★	232	2023/10/15	UKRI	Oxford to lead global collaboration to research and develop next-generation COVID-19 and flu vaccines	University of OxfordはUKRIからの8mポンドの資金援助を受けて、既存の新型コロナウイルス感染症ワクチンに対する理解を深め、インフルエンザや呼吸器合胞体ウイルス（RSV）を含むいくつかの呼吸器病原体に対する将来のワクチン開発を強化するための世界的な協力を促進することを発表。	将来のパンデミック		●		●	●	●					リンク
	233	2023/10/16	GAVI	Action plan to drive equitable expansion of immunisation in Africa	アフリカ連合委員会(AUC)とGaviは、予防接種の支援、技術および学習支援の提供、保健システムの強化に向けて、アフリカ連合加盟国全体での救命ワクチンのアクセスを増やし、普及を加速するためのMoUに署名したことを発表。予防接種に関するアディス宣言(Addis Declaration on Immunization；ADI)に準拠しており、予防接種プログラムへの政治的、財政的、技術的投資を増やすための10のコミットメントが含まれている。	-	●		●		●	●					リンク

